

五高同窓会報

第36号

〒018-1732

秋田県南秋田郡五城目町

五城目高等学校内

五高同窓会事務局

☎(018) 852-2265



全校森山登山

森山・川瀬

わが母校は今年度八十周年をむかえました。コロナ禍の中、昨年十月縮小されながらも厳かな式典が挙行されました。振り返って見ますれば、八十年前は太平洋戦争中のこと。地域における教育振興のみならず拓けゆく世の中を期待し目標に向かって一致団結して行動した先人のことを想い浮かべたところでした。五城目高校一期生・二期生らが学校創立（建設）の為の作業を写真で見たときのことを思い浮かべてました。

天地生を受け動き出して以来、一秒足りとも止まったことはありません。その中で私達は生かされ、そして生きているのです。自分の為、他人の為などひとりでは生きて行けません。世の中は思いがけない出来ごとの連発ですが、それでも今生きていることに幸せを感じ、希望をもって明日に向かって進んで行くようではありませんか。



創立八十周年を祝って

昭和三十一年卒
同窓会長 伊藤 英紀

新年明けましておめでとうございます。本年も旧年同様に公私共に何卒よろしくご指導とご支援ご交誼を賜りますようお願い申し上げます。
霊峰森山を仰ぐこの五十目の地に、昭和十七年三月三十一日、高等教育の灯がともされて早や八十年の歳月が流れようとしております。

校訓「真実・克己・規律」の三訓を心として、次代をになう若き命の形成に力を注いで参りました八十年の歴史に想いをはせる時、胸あつくなるものを禁じ得ません。今日までひたすらご尽力賜りました歴代校長をはじめ、教職員関係各位の皆様から敬意と感謝を表すものであります。

時代は二十一世紀を迎え、その根幹を成すものは「人間」であり、人間としての成長をめざす「教育」こそが全ての原点であります。

この記念すべき八十周年を契機として、心豊かな人間形成教育に、更に磨きをかけられることを念願し、心底よりお祈りして参りたいと存じます。

五城目高等学校のゆく手が、明るく希望に輝くものとなりますことを祈願し、創立六十周年に作った五高讃歌。

五高讃歌

(一)ひかり生まれる 森山の風が心に 透きとおる
学びの空はよどみなく 若者の道 なお照らす
ああ霜に耐え 夏の日に耐え 若草は 五高の庭に
今萌ゆる

(二)燃える生命に 青雲のきらめく若さ 確かなる
学びの道は はてしなく 明日への歩み なお続く
ああ 天を指し未来をのぞむ 若杉は
五高の空に今そびゆ

末筆になりましたが、讃歌のように母校がこれからも九十周年百周年と若杉が五高の空に聳えることを祈ると共に新しい年、令和五年が皆様にとって輝かしい、健康で幸多い年となりますようお祈り申し上げます、私のあいさつとさせていただきます。



学校創立八十周年 記念事業を終えて

校長 赤坂 亨

同窓会の皆様には、学校創立八十周年関連の諸事業へのご協力をはじめ、今年度も様々ご支援をいただきました。ここから感謝申し上げます。令和五年二月に最後の創立八十周年記念事業実行委員会が開催され、記念事業の実績報告や記念事業の収支報告、会計監査が承認され、創立八十周年関係の記念事業をすべて終了することができました。

令和四年十月十五日に、五城目高等学校創立八十周年記念式典を本校体育館にて厳粛に挙行でき、来賓として参加していただいた安田教育長からは、生徒代表のあいさつや案内してくれた生徒たちの態度がよかったという褒めの言葉をいただいたことは喜びに堪えません。また、式典後には「つながりの中、生きる」と題して秋田市大森山動物園園長小松守様をお招きし、記念講演を行いました。とても貴重なお話を拝聴しました。縁あって本校に赴任し、こ

のような本校の節目の年に在職できたことは、わたくし個人にとっても幸いであることと思います。また、五城目高等学校を愛し、支援してくる方の多いことを大変ありがたく思っています。

八十周年記念特別事業では、校地内の樹木の剪定ということで生徒昇降口前のロータリーにある立派な赤松二本と南側駐車場前の黒松六本の剪定を行いました。また、紅白の幕も購入させていただきました。今年の卒業式から使用させていただきます。

また、五城目町の宗延寺ご住職で本校教員でもあられた分銅瑞泉(博司)様(昭和二十七年卒)からの寄付の用途についてです。予定通り図書館にエアコンを設置しました。図書館で授業も可能にしたことから、七月と八月の利用者数は、延べ二千人を超えており、ありがたく使用させていただいております。

今年度の記念事業としては、野球の招待試合として、

秋田中央高校を招待し、六月に弁天球場で実施しました。また、例年一年生のみ実施していた森山登山を八十周年記念全校登山として実施しました。九時より体育館で荒川滋様から「森山の自然や歴史について」と題してご講話をいただいた後、十時に学年ごと本校を出発し、山頂を目指しました。「もつと森山を乗り越え隊」の皆様のご協力により、安全に登山することができました。また、記念事業として登山道に道案内の看板を敷設置することができました。来年度以降も全校登山として実施していく予定です。

八十周年を機に、少子化が最も進んでいるこの湖東地区にあつて、小規模校の特質を生かし、教育内容の質を維持向上させる努力をしてまいります。また、湖東地区の教育環境を低下させないために、本校がどうあるべきかを考え、地区における本校の存在意義を確かなものにしてまいりたいと存じています。

全国各地の同窓生の皆様には、今後とも五城目高等学校に対する変わらぬご指導・ご支援をお願い申し上げます。

令和4年度 会 務 報 告

- 4月6日(水) 入学式
- 4月18日(月) 会計監査、三役会議
- 5月13日(金) 総会書面開催 88名資料発送
承認30、未承認0、宛先不明に
よる返4、未返信48、逝去者5
- 9月27日(火) 三役会議
- 10月12日(水) 「キャリアアップ集会Ⅰ」同窓生
による職業別講話を1、2年生に
実施(3事業所・講師3名)
- 2月28日(火) 同窓会入会式
- 3月1日(水) 第75回卒業式、同窓会報36号発行

令和4年度総会

理事会・総会

母校80周年記念事業に協力を誓う

県立五城目高等学校同窓会の令和4年度「総会」は、新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴い令和3年度にひき続き、開催を見送ることになった。昨年度および今年度の活動、会計監査、並びに役員改選等の議案については、同窓会三役会議において話し合いがもたれ、書面にて全ての役員の方々から承認を頂く形をとった。また、今年度の各支部総会や本校における同窓会活動も、新型コロナウイルスの影響により計画通り開催することができなかった。

石川理紀之助翁から教わったこと

中嶋正義(昭和三十三年卒)

はじめに

七回目の年男も過ぎブラツクアイス盤状態の頭、後期高齢者という名にのんびりと浸かっていたある日の朝食直後に携帯電話、久しぶりだなあと軽い気持ちで出たところ、なんと「会報に投稿を」とのこと重い気持ちになったが、引き受けざるをえませんでした。そこで、「石川理紀之助翁伝習士」検定試験時に教わったことを思いだしながら書くことにしました。

石川理紀之助翁は

明治時代の農村指導者で生涯を貧農救済に捧げた人で、秋田県の生んだ老農(農聖)と呼ばれ優れた人間教育者であり農業指導者であったことについては、ある程度理解しておりましたが、研修に参加したことにより、数多くの言葉や短歌を残していることを知りました。

はじめに、「寝ていて人を起こすこと勿れ」が代表的なもので、自ら率先して物事に

あたればおのずと人はついてくるということ。

次に、翁の誕生と短歌との出会いでは、苦しい状況でも自分の将来について夢を持つことの大切さ。

三つ目は、石川理紀之助として人生のはじまりでは、問題が起きたときには一人で悩まないこと。日頃からまわりの人達と仲良くし仲間作りに努めることで、協力を得て問題や課題を解決することの大切さ。

四つ目は、山田村にもどって村の救済実行では、目標を数字で立てることの大切さ、目標を実現するための行動、そしてその進み具体の確認の大切さ。

五つ目は、草木谷での貧農生活と実践では、厳しい状況であっても失敗を恐れず進んでやってみることの大切さ。六つ目は、強首村の救済活動では、後継者育成の大切さ。

更に、世にはまだ生まれぬ人の耳にまで響き届けよ掛け板の音

毎朝三時に村人の起床を促すために、打ち鳴らす掛け板について詠んだ短歌で、どんなに貧しく苦しくとも未来を信じ世の人々に期待して、掛け板を鳴らし続けたのです。その意志は、戦争中でも休むことなく開催され続けた種苗交換会に受け継がれているのです。

さて、教わったことは実行されたかな。

まず、率先ということはよく聞かされたし、将来の夢もみた、仲間にも恵まれた。目標を立て実行確認もした、後継者の育成等微力ながら努めたと自負している。

また、進んで挑戦したのは、全く未知の世界の行政で自治会副会長・会長を務めたが結果は、…まあまあ今回は、これくらいでごめんナサイイ。



キャリアアップ

後輩のための職業講話

例年行われている「後輩のための職業講話」が「キャリアアップ」と名称を変更して、令和四年十月十二日学校体育館で行われました。若き同窓生三名による仕事現場の事案など、在校生にとっては今後参考となるお話に、熱心にメモをとる姿が印象的でした。



高校生活で得たこと

五城目町役場

渡邊 真咲
(令和2年卒)

五城目高校を卒業して早くも四年目になります。

高校卒業後は地元の五城目町役場に就職し、社会人として日々奮闘中です。高校一年生の頃から公務員を目指し、セミナーや勉強会に参加していました。

入職早々、私は税務課に配属になりました。不安でいっぱいだったのを覚えていています。覚えることや窓口業務、電話対応が多く住民の方と関わる機会がたくさんあります。色々な住民の方がいて色々な質問をされたりする中で自分の知識や言葉でどのような説明をすれば良いか、そしてそれがきちんと伝わって納得してくださるか日々勉強になり、やりがいを感じる仕事です。

職場環境にも恵まれ忙しいながらも充実した日々の中、働くことができています。高校在学中に、色々な資格取得のために大いに役立ちます。幸い、五城目高校は同窓会の補助があったり熱心な先生方の指導があるので、いい意味でどんどん利用するのがいいと思います。

進学か就職か実感が湧かず、ピンと来ていない方もいると思いますが、だからこそひとつでも多く資格を身につけることが大切だと思います。まだまだ社会人としては未熟者ですが、五城目高校で得たことを少しでも活かすことができるよう、これからも邁進していきたいと思っています。皆さんも頑張ってください。応援しています。

私の体験

秋田やまもと農業協同組合

田中 萌絵
(令和2年卒)

私の勤めている所には本店といわれる大元のほかに営農センターやスタンドなど様々な施設があります。その事業所にある車両の保険や税金の管理、日常的に使うコピー用紙などを注文した請求書の管理、会議や来客があればその

都度お茶出しをしたりなど皆さんが事務仕事と言われれば思いつくような仕事を主にしています。この仕事を選んだ理由は、正直仕事を選ぶ時に「この仕事がいい」というような明確なものではなく大きな枠組みとして「人とかかわる仕事がいい」という思いしかありませんでした。来店するお客様は高齢者が多いので少し大変な事も多いですが自分の性格にあった職場だと実感しているので毎日楽しく仕事をしています。就職後大変だった事は、現在仕事をして三年目ですが一年ごとに部署が変わった事です。慣れてきたと思ったタイミングで異動になって毎回一年生からのスタートですが色々な部署の仕事を経験させてもらえているので幅広く様々な知識を得られるとありがたく感じています。就職試験対策は、やり始めるのが早いほど自信になるので出来る事は今から積極的に始めた方がいいと思います。私は長所短所、自己PRを考える時苦戦したので、自分はこういう性格でどんな事が得意不得意かを早いうちに理解しておく事が大事だと実感しました。コロナ禍で思うように活動できない時代ですが、高校生活後悔のないように思いっきり笑顔で楽しんでください。

進学後・就職後について わかば幼稚園

佐々木玲奈
(令和2年卒)

秋田市山王にある、わかば幼稚園で5歳児の副担任をしている佐々木玲奈です。

仕事内容は、朝の子どもの受け入れが終わると、各クラスの活動へと移り、クラスでは自由遊びや月ごとの製作など、日によって活動内容は異なりますが、その日の子どもたちの様子に合わせた保育をしています。子どもたちの保育以外にも指導案といった書類作成、発表会の衣装づくりなども子どもたちが降園した後に保育者が行っています。幼稚園教諭を選んだ理由は、子どもが好きだからです。子どもを好きだからこそ子どもたちのことをかわいいなと思ったり、この仕事に楽しさを感じたりしながら仕事をすることが出来ています。

内定を得るために、高校時代は定期テストや小テストでは赤点を取らないように心がけました。短大進学を考えていたので一年生から評定を意識して勉強していました。指定校推薦で進学することが決まった後はたくさんの先生との面接練習、高大連携授業の参加などをしました。短大進学後は五回の実習やピアノ

などの実技試験に苦勞しましたが、回数をこなすことで苦勞もなくなり楽しみながらできるようになってきました。

就職後に苦勞したことは、かまってほしい子どもへの対応です。担当クラスの中に何人かの障害を持った子どもがいるのですが、教師がその子どもたちにばかり援助をしていると、普段からできていない子どもができないふりをしたり、わざと教師が目につくような行動をしたりする子どもがいます。クラスの子も全員に同じような援助をすることがとても難しいと感じ、担任などと話し合いをしながら保育をしているところです。

仕事のやりがいは、子どもの成長を感じられたとき、子どもの笑顔を見ることが出来る、行事が成功したときの三つだと私は思います。

最後に、後輩の皆さんには、今をとにかく楽しんでほしいと思います。学生の頃にしかできないことがたくさんあると思います。その次に、自分のなりたい職業に近づくことができるよう勉学に励んでほしいと思います。もし何か興味のある職業があったら調べたり、体験したりするのいいと思います。

勉学や部活などに励み、楽しい高校生活を送れるよう応援しています。

俳句に魅せられて

本間 富子
(昭和三十五年卒)

五城目高校を昭和三十五年に卒業しました。遙か遠い昭和となりましたが、今どうにか元気に令和の世を生きています。孫たちの世話も一段落し、さてこれから、と考えたときそう大好きだった俳句をやってみようと思いい立ちました。俳句に目覚めたのは高校のころかな。授業で詩や短歌、俳句など、短詩型の文学を教わり、中でも言葉の一番短い俳句に興味を持ちました。

俳句の基本は、五、七、五とたったの十七音で、それに季語を入れて俳句にするのです。でも作ってみて感じたことは日本語の奥深さ、四季折々に感じる繊細な描写など、とてもむずかしいです。反面日本語の美しさ、すばらしさにも気づきました。

有名な俳人の中でも私の好きなのは小林一茶です。日常のこと、小動物に心を寄せたり人間を明るくユーモアに、くだけたことばや方言を取り入れたりと、わかりやすく表現するところが好きです。

では私の好きな一茶の句を紹介します。

「雪とけて村一ぱいの子もかな」

雪解けが始まると春を待ちわびていた子供たちが一斉に外へ飛び出し、村一ぱい

に遊び回るあの情景は、昭和育ちの私たちの子供の頃の姿そのものですね。江戸時代の一茶も昭和の時代も雪国ならではの思いは同じであつたようです。

俳句に魅せられ五城目俳句会に入つて十四年目になります。馬川公民館の広い畳の部屋に白い障子、座を組んで、和気あいあいのもと毎月一回開催しております。

最後になりましたが、五城目高校の校歌に出てくる森山は、わが家の真正面にあり、いつも眺めています。又この町を見守つてくれているようでもあり、ありがたいです。

「いつも見る校歌の森山も春立ちぬ」



上段の一番右が筆者

創立80周年記念事業会計収支報告書

創立80周年記念事業を推進するために募金をお願いしたところ厳しい経済状況にもかかわらず129名の方々よりご協力いただきました。

多くの方々からのご支援、誠にありがとうございました。

コロナ禍ではありましたが予定されていた周年記念行事は無事滞りなく行うことができました。

収支報告書

収入済額 4,387,003円

内訳

- ◆五城目町からの協賛金 300,000円
- ◆同窓会・PTA・部活動後援会等からの
繰入金 3,050,000円
- ◆募金(手数料除く) 1,036,969円
- ◆その他 34円

支出済額 4,299,543円

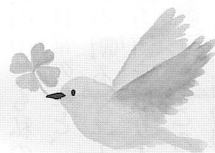
内訳

- ◆新聞広告等総務費 1,033,771円
- ◆記念式典開催費 703,695円
- ◆記念事業・環境整備(※)等 1,447,585円
- ◆記念誌等 1,114,492円

※校地内樹木剪定、紅白幕購入、液晶プロジェクタ購入等

差引残 87,460円

残額については90周年事業用積立として管理します。



ご協力ありがとうございました

伊藤道春	伊藤三千男	伊藤博	伊藤哲彦	伊藤喆	伊藤勝太郎	伊藤勝夫	伊藤和美	伊藤英紀	一関肇	一関智子	一関清四郎	石塚みどり	石田富司	石坂マキ子	石川ユキ	石川實	石川禎次	石川勉	石川進	石井光雅	石井文義	石井弘志	石井久	池田鈴子	飯田充宏	荒川紀夫	荒川恵子	浅野佐年	秋田善一	相場信子	相場忠
小玉清勝	小玉勝雄	小玉明子	後条孟	越高善和	栗山雅子	栗山正一	久保市良悦	工藤行雄	工藤八重子	工藤政志	工藤隆光	工藤勝晴	草階紀行	北原栄美	河内信夫	鎌田美保	鎌田修	金森裕子	加藤鍊	加藤豊	加藤修	廣嶋博夫	小野賢	小野地良作	尾形成子	大原由紀子	大高実	大高誠	大川原永善	伊藤安德	伊藤満
田村幸子	舘岡正雄	舘岡豊照	舘岡ナカ子	田島千恵子	高澤博彦	高岸洋子	染谷カヨ子	鈴木愛明	菅生信克	菅原弥三郎	藤原進	東海林洋子	清水龍二	嶋崎みさ子	澤田石信夫	猿田悦雄	佐藤吉郎	佐藤キンエ	佐川篤	坂谷亮七	齊藤正彦	齊藤武夫	金喜美男	近野一男	小森恵子	小林泰子	小林文子	小林鉄美	小林武義	小浜惠美子	小玉日出雄
渡辺勝治	渡部栄子	鷺谷大広	山田文男	村上喜美子	村上昭雄	村岡安子	水沢充子	三國谷美津代	三浦範子	三浦節子	三浦アヤ子	間山光樹	松原サチ子	松橋喜広	藤本正善	福嶋陽子	福岡美恵子	平野修二	林崎興義	畑澤和夫	畠山孝子	畠山愛子	橋野茂子	中森光子	中塚くに子	中嶋正義	内藤レイ子	陶優子	寺田優子	築地龍志	千田七三蔵

創立八十周年記念式典が 挙行されました

令和四年十月十五日（土）
五城目高校体育館にて創立
八十周年記念式典が挙行さ
れ、全校生徒や教職員ら
二三〇人が出席しました。

物故者に対する黙祷、開式
のことは、吹奏楽部演奏によ

る国歌・県民歌斉唱に続い
て、赤坂亨校長が「生徒の皆
さんには創立八十周年という
記念すべき年に在学した意義
を大切にしてもらい、『真実・
克己・規律』という校訓を心
のよりどころとして、一歩一歩
着実に力強く歩むことを期待
したい」と式辞を述べました。

続いて、創立八十周年事業
実行委員会委員長 渡邊彦兵
衛氏（五城目町長）が挨拶し、
秋田県教育委員会教育長 安
田浩幸氏が祝辞を述べ、同窓
会長 伊藤英紀氏が挨拶しま
した。

生徒会長 丸山虎徹さん
が「一日一日を大切に、がむ
しゃらに取り組んでいくこと
が新しい伝統を作っていくと
いう自覚を持って残された高
校生活を過ごしていきたい」

と生徒代表として挨拶し、そ
の後、歴代校長やPTA会長
ら二十三名に感謝状や表彰状
が贈られました。

最後に全員で校歌斉唱し、
厳かな雰囲気の中に閉式と
なりました。

式典後は記念講演となり、
秋田市大森山動物園園長の小
松守氏より「つながりの中、
生きる」と題してお話しいた
だきました。生徒代表の生徒
会副会長 畑沢祐奈さんから
「それぞれにしかできない役
目や生き方を選択しながら、
お互いにつながりあい、強い
共生関係を築いていきたい」
とお礼の言葉が述べられまし
た。

コロナ禍のため式典等の規
模は縮小して行われることと
なりましたが、記念キャッチ
フレーズである「永遠無窮
八十周年の思いをのせて未来
に羽ばたく」ように、今まで
培ってきた伝統を受け継ぎ、
未来へバトンを繋ぐ思いを新
たにする式典となりました。



記念招待試合（野球 対 秋田中央高校）



部活動大会 成績一覽

中央地区総体

- 卓球部
男子学校対抗
予選トナメント1回戦
五城目0-3 男鹿海洋
順位決定トナメント1回戦
五城目1-3 金足農業
女子学校対抗
予選トナメント1回戦
五城目0-3 秋田高専
順位決定トナメント1回戦
五城目1-3 秋田令和
男子シングルス
予選1回戦敗退 嵯峨 玲(1B)
予選2回戦敗退 花田 和希(2A) 古伯 湊(3C)
佐藤 椋太(1A) 伊藤 心悠(3C)
菅原日向汰(3B) 川村 颯楽(3C)
本戦1回戦敗退
阿部 善一(3B) 全県総体出場
女子シングルス
予選1回戦敗退 二田真美弥(3C) 小林 芽華(3C)
予選2回戦敗退 佐藤 椋太・嵯峨 玲組
川村 颯楽・花田 和希組
菅原日向汰・古伯 湊組
阿部 善一・伊藤 心悠組
女子ダブルス
予選2回戦敗退 小林 芽華・二田真美弥組
弓道部
女子団体3位 20射7中
男子・女子個人戦 予選敗退
バスケットボール部
男子予選トナメントCブロック
五城目34-78 秋田南
バドミントン部
団体 男子2回戦敗退
個人ダブルス
宇佐美佑雅(3B) 三浦 光太(3B)
3回戦敗退
個人 シングルス
宇佐美佑雅(3C) 4回戦敗退
菊地 夏姫(3C) 3回戦敗退
レスリング部
女子個人対抗戦50kg級
1位 武田 愛(3A)

全県総体

- 卓球部
男子学校対抗
トナメント2回戦
五城目1-3 秋田北鷹

東北大会

- 女子学校対抗
トナメント2回戦
五城目0-3 大 曲
男子シングルス
トナメント2回戦
阿部 善一(3B) 0-3 秋田工業
レスリング部
女子個人対抗戦50kg級
1位 武田 愛(3A)
弓道部
女子団体 準優勝 20射12中
男子個人戦 予選敗退
女子個人戦 予選敗退
バスケットボール部
男子2回戦 五城目56-61 新 屋
バドミントン部
団体 男子2回戦敗退
(1回戦3-2 秋田修英
2回戦1-3 大館鳳鳴)
個人ダブルス
宇佐美佑雅(3B) 三浦 光太(3B)
3回戦敗退
石井幸一郎(3A) 畠山 夢翔(2B)
2回戦敗退
菊地 夏姫(3C) 菅原 里菜(2C)
1回戦敗退
個人 シングルス
宇佐美佑雅(3B) 4回戦敗退
石井幸一郎(3A) 2回戦敗退
菊地 夏姫(3C) 2回戦敗退
櫻木 葵(3B) 2回戦敗退
三浦 光太(3B) 1回戦敗退
レスリング部
女子個人対抗戦53kg級
2位 武田 愛(3A)
弓道部
女子団体 準優勝

県民体育大会

- バドミントン部
少年の部 2部少年男子シングルス
石井幸一郎(3A) ベスト8
宇佐美佑雅(3B) ベスト8
弓道部
少年の部
団体戦 予選敗退
レスリング部
女子軽量級
2位 武田 愛(3A)
バスケットボール部
男子1回戦
五城目59-87 由 利

野球部大会結果

- 男鹿南秋湯上地区高校春季リーグ戦
五城目2-12 男鹿工業
春季全県高等学校野球大会
1回戦 五城目2-10 西 目
(7回コールドゲーム)

中央支部新人

- 男子I部 シングルス
2回戦敗退
五城目0-4 大館桂桜
秋季東北地区高等学校野球秋田県大会
トナメント決定トナメント
五城目13-2 秋田高専
五城目7-2 大館国際情報
シード権獲得
秋田県大会1回戦
五城目0-8 大館鳳鳴
弓道部
男子個人戦 予選敗退
女子個人戦
3位 土田 結実(2A)
バドミントン部
男子団体戦
1回戦 五城目0-3 由利工業
敗退
男子I部 シングルス
畠山 夢翔(2B) 1回戦敗退
男子I部 ダブルス
畠山 夢翔(2B)・佐藤 陽琉(2C)
1回戦敗退
男子II部 シングルス
宇佐美佑雅(1B) 優勝
中村 大地(1B) 3回戦敗退
菅原 大地(1B) 2回戦敗退
佐藤 陽(1B) 1回戦敗退
小玉 伶音(1C) 1回戦敗退
澤井明日夢(1C) 1回戦敗退
男子II部 ダブルス
宇佐美佑雅(1B)・中村 大地(1B)
準優勝
佐藤 陽(1B)・澤井明日夢(1C)
1回戦敗退
菅原 大地(1C)・小玉 伶音(1C)
1回戦敗退
卓球部
男子学校対抗
トナメント1回戦
五城目2-3 金足農業
男子シングルス
トナメント1回戦
佐藤 椋太(1A)・嵯峨 玲(1B)
予選敗退
花田 和希(2A)
男子ダブルス
佐藤 椋太(1A)・嵯峨 玲(1B)
予選敗退
1次予選Aブロック
五城目16-25 男鹿工業
五城目35-78 秋田西
2次予選Iブロック
五城目27-68 秋田南
五城目34-61 由 利

全県新人

- バドミントン部
男子団体戦 1回戦
五城目1-3 明 桜 敗退

運動部・その他大会

- レスリング部
JOCジュニアオリンピックカップ
令和4年度ジュニアクイーンズカップ
レスリング選手権大会 出場
カデットの部53kg級 武田 愛
弓道部
秋田県春季弓道大会
男子個人 予選敗退
女子個人 予選敗退
女子個人 佐藤 末子(3C) 決勝進出
バスケットボール部
ウィンターカップ2022秋田県予選
五城目67-56 明 桜
五城目37-160 能代科学技術
吹奏楽部
全日本吹奏楽コンクール秋田県中央地区大会
金賞
全日本吹奏楽コンクール秋田県大会
高等学校小編成の部 銅賞
全日本アンサンブルコンテスト秋田県中央地区予選
高等学校の部 銀賞
演劇部
中央地区高校演劇発表講習会
「アルキメデス・スリッパ」上演
美術部
第55回秋田県高等学校総合美術展美術工芸部門
絵画部門
推奨 和田 未憂
その他成績
第38回感動体験発表会
優秀賞「三年間の闘い」
武田 愛(3A)
令和4年度明るい選挙啓発ポスターコンクール

編集後記

令和五年の正月から厳しい寒波に襲われ路面凍結や水道管破裂など例年になく寒さが続いた。立春が過ぎ日差しが暖かくなつた二月、編集長から会報作成について連絡があった。と言つても以前は五高の一室をお借りし会議や校正等をしてきたが、コロナ禍後は感染予防の為そんな事もなくなつた。かつての五高文化祭では同窓生の作品展示等に一教室を設け会員同志の交流もあった。今敢えてそれを望むものではないが寂しい気もする。今回会報作成に当たり学校の協力を戴きたく問い合わせるも「個人情報」云々でスムーズに行かない事もあった。個人情報と言えども使用目的ははっきりしてて悪用ではないのです。母校と同窓会との関係について考えさせられた。コロナ禍で何とも希薄になったことは確かだが学校と同窓会の関係までもが...と悩みながらペンを置く。(荒川祥一郎 記)

編集委員会

- 小川 明一
荒川 祥一郎
金子 登
児玉 ゆり
伊藤 英紀